

報道関係各位

2012年11月27日

森ビル株式会社

文化庁メディア芸術祭香港展 2012

PARADE 日本のメディア芸術における見えない存在 百鬼夜行絵巻から IS Parade まで

詳細プログラム決定

文化庁が主催、森ビル株式会社が企画運営する「文化庁メディア芸術祭香港展 2012 『PARADE』」＜会期：2012年12月8日（土）～2013年1月6日（日）／会場：ArtisTree）のスクリーニング及び教育普及プログラムなどの関連イベントの詳細が決定しました。

この展覧会は、森美術館（東京）のチーフ・キュレーター片岡真実が企画、日本の自然観や見えない存在への意識が視覚化された、現代アート、マンガ、アニメーション、ゲーム、ウェブ、アプリ作品など、24名のアーティストによる、新作2点を含む28点を紹介するものです。

本展にあわせ、映像作品のスクリーニング17回と、妖怪研究家の湯本豪一氏や妖怪翻訳家のマツ・アルト氏らを招聘したシンポジウム、ギャラリートツアーなど4種類合計6回の教育普及プログラムを開催します。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 渡邊

TEL：03-6406-6606

FAX：03-6406-9306

E-mail：koho@mori.co.jp

文化庁メディア芸術祭香港展 2012

PARADE 日本のメディア芸術における見えない存在 百鬼夜行絵巻から IS Parade まで

文化庁では、メディアアート、ゲーム、アニメーション、マンガ等我が国の優れたメディア芸術作品を海外へと発信し、その発展を図るため、文化庁メディア芸術祭の受賞作品等を展示・上映する展覧会を海外で開催しています。これまでに、北京（2002年）、上海（2007年）、シンガポール（2008年）、ウィーン（2009年）、イスタンブール（2010年）、ドルトムント（2011年）で開催しており、今年度は、2012「日中国民交流友好年」認定行事として、中国・香港の ArtisTree をメイン会場に開催します。

「PARADE 日本のメディア芸術における見えない存在 百鬼夜行絵巻から IS Parade まで」と題した本展では、日本特有の自然観や、見えない存在への意識が視覚化された作品を通じて、メディア芸術の起源と、過去から現在に至るメディアやテクノロジーの変遷を紹介します。展覧会では、24名のアーティストによる28作品を展示・上映するほか、関連イベントとして、シンポジウムなどの教育普及プログラムを実施します。

文化庁メディア芸術祭香港展 2012

「PARADE 日本のメディア芸術における見えない存在 百鬼夜行絵巻から IS Parade まで」

会期：2012年12月8日（土）～2013年1月6日（日）

開館時間：11：00～20：00

展示会場：ArtisTree

(1/F, Cornwall House, TaiKoo Place, 979 King's Road, Island East, HK)

上映会場：Hong Kong Arts Centre “agnès b. CINEMA”

(Upper Basement, 2 Harbour Road, Wanchai, HK)

Hong Kong Film Archive, Cinema

(50 Lei King Road, Sai Wan Ho, HK)

入場：無料

キュレーター：片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）

主催：文化庁

後援：在香港日本国総領事館、Leisure and Cultural Services Department（香港特別行政区政府）、Hong Kong Film Archive、日本貿易振興機構香港事務所、CREATE HONG KONG

協賛：Swire Properties Limited、Hong Kong Arts Centre、Shun Hing Group / Panasonic、無印良品

協力：日本航空、The Japan Society of Hong Kong、Hong Kong Design Institute & Hong Kong Institute of Vocational Education (Lee Wai Lee)、Asia Society Hong Kong Center

※2012「日中国民交流友好年」認定行事

企画・運営：文化庁メディア芸術祭香港展 2012 事務局（森ビル株式会社、森美術館）

公式 URL：<http://parade-jmaf.jp>

問い合わせ先：文化庁メディア芸術祭香港展 2012 事務局（森ビル株式会社）

TEL：03-6406-6637 FAX：03-6406-9391 担当：出渕、山口、竹内

文化庁メディア芸術祭について

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰し、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。今年度〔第16回〕は、過去最多となる世界71の国と地域からの1,502作品を含む、合計3,503作品の応募があるなど、文化庁メディア芸術祭は、国際的なフェスティバルへと成長を続けています。

また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開をはじめ、創作活動支援や連携推進までを含む関連事業を通じ、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。

展覧会タイトルについて

本展は、絵巻からマンガやアニメーションという表現メディアへの系譜をみつつ、自然のなかの見えない存在を妖怪などのキャラクターを通して視覚化してきた文化が新しいメディアを通していかに継承されているかを検証する展覧会です。

出展するアーティストは、宮崎駿、押井守ら、世界的に知られた映画監督から、さわひらき、クワクボリョウタ、金氏徹平等国内外で熱い注目を浴びている若手アーティストまで多彩です。

企画のポイントは、従来、技術的な側面や日本の新しいポピュラーカルチャーとして紹介されてきたメディア芸術を、日本古来の自然観や中世の絵巻、江戸期の妖怪ブームなどの伝統に文脈づけている点です。

展示も、コンセプトの起点にある〈百鬼夜行絵巻〉を大きく出力してその全貌を見せながら、「夜の街のパレード」というイメージで展示デザインをしました。

（片岡真実 森美術館チーフ・キュレーター）



田口行弘
<away>
2009年/2012年
©yukihiko taguchi
courtesy: mujin-to production



金氏徹平
<Teenage Fan Club #46>
2012年
copyright Teppei KANEUJI



地岡公俊
<墓場鬼太郎>
2008年
©MIZUKI production / hakaba-kitaro committee

※実際の展示作品とは異なります

出品作品について

本展では、現代アート、マンガ、アニメーション、ゲーム、ウェブ、アプリ作品など、24名のアーティストによる、新作2点を含む28作品を、メイン会場の ArtisTree にて展示、上映するほか、2つの上映会場で実施するスクリーニングプログラムで紹介します。

< 出品作品一覧 >

作家名	作品名	分野	受賞年	展示形態
Antenna	六本木伝承2012	アート	-	展示
地岡 公俊	墓場鬼太郎	アニメーション	2008	展示
原 恵一	河童のクゥと夏休み	アニメーション	2007	上映
橋本 大佑	植村花菜「トイレの神様 with 押尾コータロー」MV	エンターテインメント	2010	展示
林 智彦 / 千房 けん輔 / 小山 智彦	IS Parade	アニメーション	2010	展示
細田 守	おおかみこどもの雨と雪	アニメーション	-	上映
細田 守	サマーウォーズ	アニメーション	2009	上映
菅野 創 + 山口崇洋	SENSELESS DRAWING BOT	アート	2011	展示
金氏 徹平	Teenage Fan Club #46 Teenage Fan Club #47 Teenage Fan Club #48 Teenage Fan Club #49 Teenage Fan Club #50 White Discharge (Movie) #1 White Discharge (Movie) #2 White Discharge (Movie) #3	アート	-	展示
川崎 博嗣	鬼神伝	アニメーション	2011	上映
クワクボ リョウタ	10番目の感傷 (点・線・面)	アート	2010	展示
クワクボ リョウタ	ニコダマ	エンターテインメント	2010	展示
宮崎 駿	千と千尋の神隠し	アニメーション	2001	上映
宮崎 駿	もののけ姫	アニメーション	1997	上映
諸星 大二郎	葉と紙魚子	マンガ	2008	展示
成瀬 つばさ	リズムシ	エンターテインメント	2011	展示
沖浦 啓之	ももへの手紙	アニメーション	2011	上映
奥村 雄樹	くうそうかいぼうがく・善兵衛の目玉	アート	-	展示
Omodaka、ヒラノリョウ	Hietsuki Bushi	エンターテインメント	2011	展示
押井 守	GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊	アニメーション	-	上映
大友 克洋	AKIRA	アニメーション	-	上映
さわ ひらき	record	アート	-	展示
さわ ひらき	between	アート	-	展示
しりあがり 寿	あの日からのマンガ	マンガ	2011	展示
田口 行弘	away-update 2012	アート	-	展示
田中 秀幸	べろべろ	エンターテインメント	2011	展示
辻川 幸一郎	Fit Song	エンターテインメント	2006	展示
植草 航	優しいマーチ	アニメーション	2011	展示
伝 土佐 光信	百鬼夜行絵巻 (複製)	-	-	展示

※伝 土佐 光信<百鬼夜行絵巻>の複製は、作家数及び作品数に含めていません。

■スクリーニングプログラム

＜鬼神伝＞、＜ももへの手紙＞をはじめとする、日本のアニメーションを代表する 9 作品を上映するほか、歴代の文化庁メディア芸術祭の受賞作品を紹介する 3 つの特別プログラムを上映します。

※メイン会場の ArtisTree に加え、下記 2 箇所の会場にて、スクリーニングを行います。

- ・ Hong Kong Arts Centre “agnès b. CINEMA”
Upper Basement, 2 Harbour Road, Wanchai, HK
- ・ Hong Kong Film Archive, Cinema
50 Lei King Road, Sai Wan Ho, HK

日時	ArtisTree	Hong Kong Arts Centre agnès b. CINEMA	Hong Kong Film Archive
12月9日 日	14:00 おおかみこどもの雨と雪		
12月15日 土	14:00 鬼神伝		
	17:00 文化庁メディア芸術祭 短編アニメーション “JAPAN POP!”		
12月16日 日	14:30	おおかみこどもの雨と雪	
	16:30 河童のクゥと夏休み		
	17:00	第15回文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門受賞作品	
12月20日 木	19:00		サマーウォーズ
12月22日 土	11:00		ももへの手紙
	14:00 文化庁メディア芸術祭 短編アニメーション ハンドドローイング～その無限の世界		
	14:30	GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊	
12月23日 日	14:00 千と千尋の神隠し		
	14:30	AKIRA	
	17:00	第15回文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門受賞作品	
12月25日 火	14:00		河童のクゥと夏休み
12月29日 土	14:00 サマーウォーズ		
12月30日 日	14:00 ものけ姫		
1月5日 土	14:00 ももへの手紙		

関連イベントについて

会期中、本展に関連するシンポジウムなど、4種類6回の教育普及プログラムを実施します。

■キュレーターによるギャラリートーク

本展を企画した片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）によるツアーです。

日時：2012年12月8日（土）13:00～14:00 会場：ArtisTree

定員：30名 申込：当日会場にて先着順で受付 料金：無料

※英語のみ

■アーティストトーク

出展作家の金氏徹平、田口行弘、菅野創+山口崇洋、クワクボリョウタによるトークです。

日時：2012年12月8日（土）14:00～16:00 会場：ArtisTree

定員：30名 申込：当日会場にて先着順で受付 料金：無料

※英語のみ

■シンポジウム

「パレード：日本のメディア芸術における見えない存在 百鬼夜行絵巻から IS Parade まで」

出演者：湯本豪一（妖怪研究家）、マット・アルト（妖怪翻訳家）、
金氏徹平（アーティスト）、田口行弘（アーティスト）、菅野 創（アーティスト）、
山口崇洋（アーティスト）、クワクボリョウタ（アーティスト）

モデレーター：片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）

日時：2012年12月8日（土）16:00～18:00 会場：ArtisTree

定員：70名 申込：当日会場にて先着順で受付 料金：無料

※英語同時通訳付

湯本豪一（ゆもと こういち）

1950年生まれ。法政大学大学院修士課程（日本史専攻）修了。川崎市市民ミュージアム学芸員、美術館担当室長、学芸室長を経て2011年に退職、それまで行ってきた妖怪研究と妖怪資料収集を中心に活動している。

マット・アルト

米国ワシントンDC生まれ。ウィスコンシン州立大学卒業。米国政府特許庁に翻訳家として勤務、2003年1月に、エンターテインメント翻訳専門会社の株式会社アルトジャパン取締役副社長に就任。
「英語でしゃべらナイト」等テレビ出演多数。共著に「Yokai Attack! 外国人のための妖怪サバイバルガイド」(2008)等。

■ファミリーワークショップ

「自分で作った妖怪やキャラクターを使ってパレードしよう！」

マンガ、アニメーションやキャラクターの創造とも深くかかわる「見えない存在」を感じとることをテーマに、日常にある身近なものから、妖怪やキャラクターを創造するワークショップです。子供たちひとりひとりが作った妖怪やキャラクターを絵巻に展示して、オリジナルのパレード絵巻を作ります。

日時：12月15日（土）、22日（土）、29日（土）各13:00～14:00

会場：ArtisTree 定員：15名 申込：当日会場にて先着順で受付

対象：6歳以上（親子で参加可能） 料金：無料 ※中国語のみ

- ・ 詳しくはウェブサイトをご覧ください。（<http://parade-jmaf.jp>）
- ・ 内容は変更になる可能性があります。